

その評価、主成分だけで大丈夫？

参加費無料

機器利用講習会

GCMS、熱分解GCMSを用いた プラスチック中の添加剤分析

ガスクロマトグラフ質量分析装置(GCMS)は、微量成分の分離分析が可能な分析装置です。近年、RoHS指令やトレーサビリティの観点から、樹脂の添加剤分析に利用されています。樹脂は、添加剤によって物性が変化しますが、赤外分光分析では微量な添加剤を分析することは困難です。GCMSの使い方を習得すれば、品質管理、商品開発などに広く活用できる強力な分析手法です。

講義では、GCMSの基礎から樹脂に含まれるフタル酸エステル、酸化防止剤、滑剤などの添加剤の分析について、概要を分かりやすく説明します。また装置講習では、熱分解GCMSを前にして、サンプルの取り扱い、解析のコツなどを説明します。

これから装置を使用しようと思っておられる方はもちろん、すでに利用されている方にも有意義な講習になると思いますので、ご興味をお持ちの方の参加をお待ちしております。

開催日時

日時: 2019年3月14日(木)
13:30 - 16:00

場所: 滋賀県工業技術総合センター
2階 大研修室
(滋賀県栗東市上砥山232)

講師

石谷 英司 氏
株式会社 島津製作所
分析計測事業部
グローバルアプリケーション開発センター
GC・GCMSグループ

内容

第1部 技術講習会(13:30-15:00 定員30名)

第2部 実習(15:10-16:00 定員5名)



本講習会で用いる熱分解GCMS装置は、平成20年度に公益財団法人JKAから補助を受けて整備されたものです。



熱分解GCMS装置

申し込み方法

: 以下のホームページの申し込みフォームからお申込みください。

<http://www.shiga-irc.go.jp/info/news/>

問合せ先

: 滋賀県工業技術総合センター 中居 Tel.077-558-1500 FAX 077-558-1373